

ウラン試験の概要について

質問内容	回答
<p>ウラン試験で使い終わったウランはどのようにするか。</p>	<p>ウラン試験では、約53tのウランを使用する予定です。使用したウランについては、そのうち約20tのウランは、分離施設、精製施設において、アクティブ試験時の機器調整用のウラン溶液として保管するほか、残り約30tのウランは、ウラン粉末としてウラン酸化物貯蔵設備で保管する予定です。</p>
<p>ウラン試験に使用するウランの調達先と搬入時期は。</p>	<p>ウラン試験で使用する劣化ウランは、核燃料サイクル開発機構ならびに米国から調達しています。 なお、搬入時期はウラン試験開始の直前を考えています。</p>
<p>外乱試験についてですが、説明の中で、停電を模擬すると言われていましたが、他には停電以外に何か考えていますか。</p>	<p>外乱試験については、外部電源喪失試験の他、 ・安全圧縮空気喪失試験 ・施設緊急停止試験 ・パルスカラムの機能異常を想定した試験などを、計画しています。</p>
<p>品質保証では協力会社の質が大きな問題だったと思う。ウラン試験では外部の会社に委託して行う部分があるのか。また、そういった会社の名前は公表できないのか。</p>	<p>一部の分析などの定型的な作業について、当社の管理のもと外部の会社に委託して行うことを計画しています。 委託を受けて作業を行う方々についても、当社社員と同等の保安教育や化学薬品取り扱いに関する教育を実施することとしています。 なお、委託先の会社名の公表については、差し控えさせていただきます。</p>
<p>人的ミスというのは完全に防ぐことはできないと思うが、社員の教育はどのように行っているのか。</p>	<p>運転部門、保守部門および放射線管理部門の社員に対して、関係法令および保安規定に関すること、放射線管理に関すること、核燃料物質等の取扱いに関することなどを講義形式で教育しています。 また、フランスCOGEMA社のラ・アーク工場、イギリスBNFL社のセラフィールド工場および核燃料サイクル開発機構の東海工場において、実践訓練や各部門の専門性に応じた項目を組み合わせた教育訓練を実施してきています。 なお、協力会社の社員の方々についても、関係法令および保安規定に関することなどの保安に係る教育を、当社の社員と同様に受けて頂いています。</p>
<p>ウラン試験の開始が遅れているようだが、現時点での開始時期は何時か。また後工程はどのようになるのか。教示願いたい。特に操業時期はH18.7をkeepするのか。</p>	<p>ウラン試験の開始およびアクティブ試験以降の工程については、今後の状況などを踏まえて検討し、その結果がまとまり次第、公表します。(6月28日に、ウラン試験の開始を7月に変更しました。)</p>
<p>過日東京での経産省交渉では、ウラン試験の前提となる当該区域の保安規定が未承認との見解を得ました。いまだにウラン試験云々する段階ではないと思いますが如何に。</p>	<p>6月17日に、第1グループを適用範囲とした保安規定の認可を頂きました。</p>